

日新

苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
 日日新 ひ び あら 日々に新たに
 又日新 また ひ あら 又日に新たなり
 出典 「大学」

日新地区だより 54号



ゆめにしん

「ゆめ・にしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行: まちの未来づくり日新 広報部会
 福井市文京5丁目1-8 日新公民館
 発行日: 令和2年(2020年)7月3日

1月16日に新型コロナウイルス感染症が日本上陸

今回の新型コロナウイルス感染症が日本に上陸したのは今年の初めであります。「上陸」と書くと、まるで細胞を持って生きているように思えますが、細胞を持たないウイルスです。日本への感染の流れは大きく2つの経路に分けることが出来ると政府の専門家会議が結論づけました。

第1の経路は中国・東アジアからの帰国者・旅行者による流行からの**武漢型**(3月に全国で多数の感染集団が起こるが、その後は消滅に向かっている) **第2の経路**はヨーロッパからの帰国者・旅行者による流行からの**欧州型**(3月11~23日に欧米からの旅行者や帰国者によつての流行)

第1の経路

12月の初めに武漢市で今回の感染者が発見された。

1月16日 神奈川県在住の中国籍の男性がPCR検査で陽性と確認された。

その後28日までの間に中国(武漢市)からの訪日旅行者を次々と感染者と確認されていく。

日本政府は武漢市に滞在の邦人をチャーター便で帰国させることにする。

1月28日初めての日本人感染者が現れた。

1月27日 日本政府が「**指定感染症**」に指定し2月1日に発表する

2月1日 2週間以内に湖北省に滞在歴の入国を拒否する

2月3日 ダイヤモンドプリンセス号が横浜港に、その後2日間船内で検査をする

2月5日 ダイヤモンドプリンセス号における検査結果、陽性者が複数確認される

2月7日 クルーズ船「ウエスタルダム号」の入国を拒否する

2月10~16日 この週の国立感染症研究所への症例報告数は54

2月13日 浙江省に対して入国拒否、国内で初めて死亡者が出る

2月14日 新型コロナウイルスを「**検疫法第34条の感染症の種類**」に指定する

2月17日 中国からの帰還の最終チャーター機が日本に到着する

2月19日 ダイヤモンドプリンセス号の検疫期間が終わり、陰性者は下船し帰路に

2月20日 海外渡航歴がない人の初めて陽性感染者がでる



この後、あちこちでクラスターによる飛び火感染者が続出し、**新型インフルエンザ等対策特別措置法**・外国からの日本への入国が制限、学校の臨時休校、などが行われる。

2月27日 外国人の日本への入国拒否が始まる

内閣総理大臣より、3月2日から春休みまで国公私立を問わず全国の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の一斉**臨時休校を要請**する方針が示され、3月16日時点までには、ほぼすべての学校が休校要請に応じる

3月7日 韓国からの日本への入国拒否が実施される

3月9日より、中国(香港とマカオを含む)および韓国からの入国者に、指定の場所で2週間待機した上、公共交通機関の利用を控えるよう要請する

3月11日 イラン、イタリアに滞在歴のある外国人の日本への入国を拒否する

3月13日 新型コロナ特措法が成立し、同法が新型コロナウイルス感染症(COVID-19)にも適用されることになった

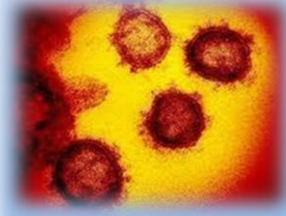
3月18日 3月上旬に東京での滞在歴のある男性が福井県で初めての感染者と確認される

3月21日 ダイヤモンド・プリンセス号の感染者を除く日本国内の累計感染者数が100人を超える

2月25日~3月中旬まで **福井**も含めて全国25県で次々と感染者が確認される

第2の経路：欧州発(3月以降)

- 3月23日 ス페인からの帰国者で初めての感染者と確認される
- 3月24日 **2020年の東京オリンピックおよびパラリンピックの開催を1年程度延期することを発表**
- 3月26日 鹿児島県で初めての感染者と確認される
- 3月27日 **ヨーロッパ26国に2週間以内に滞在歴のある外国人の日本への入国を拒否**
- 3月30日 富山県で初めての感染者と確認される
- 4月3日 **2週間以内に東南アジアを中心に73国に滞在歴のある外国人の日本への入国を拒否**
- 4月5日 日本国内の**累計死者数が100人**を超える。また東京都の累計感染者数が1000人を超える
- 4月7日 日本政府は7都府県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県)を対象に、4月7日から5月6日までの1か月間に期間を限って「**緊急事態宣言**」を発令した
- 4月9日 国内の**累計感染者数が5,000人**を超えた
- 4月10日 鳥取県で初めての感染者と確認された
- 4月16日 「**緊急事態宣言**」の**対象地域を全都道府県に拡大**。
- 4月18日 国内の**累計感染者数が1万人**を超える
- 4月20日 長崎県の長崎港に停泊中のクルーズ船「**コスタ・アトランチカ号**」の乗員1人が新型コロナウイルスに感染したことが確認される
- 4月29日 上陸拒否の対象地域はこれで合わせて87の国・地域となる
- 5月2日 日本国内の**累計死者数が500人**を超えた
- 5月4日 **全国を対象に発令中の緊急事態宣言の期間を5月31日まで延長**する
- 5月14日 39県について、**緊急事態宣言を解除**する
同日、東京都の累計感染者数が5,000人を超えた。
- 5月16日 上陸拒否の対象地域は100か国となる
- 5月21日 特定警戒都道府県として緊急事態宣言を継続していた8都道府県のうち、京都、大阪、兵庫の関西2府1県について、緊急事態宣言を解除する
- 5月24日、4月7日からの緊急事態宣言が発令されてから、約1か月半ぶりに全面解除されたことになる
- 5月27日 しかし、未だに上陸拒否の対象地域はこれで合わせて111の国・地域となる (6月1日まで)



怖いコロナウイルス

福井県は

3月18日に県内初めての感染者

- 4月3日 県が平日夜間と週末の外出自粛要請する
- 4月7日 知事が「**緊急事態宣言直前**」を言明
- 14日 県が**独自の緊急事態宣言を発令**(外出自粛を終日に拡大)
- 15日 県内の感染者が100人になる
- 16日 ここで国が全国に対して「**緊急事態宣言**」を出す
- 25日 県が100業種に**休業要請(5月6日まで)**
- 28日 122人目の感染者確認(**これ以降新規の感染者はいない**)
- 5月4日 国が緊急事態宣言を延長する
- 5日 休業要請を延長(最大で5月20日まで)段階的な解除を決定
(知事が第1波はおおむね収束と発表)
- 11日 県が休業要請を一部解除する
外出自粛は平日昼間は除外されて平日夜間と週末となる
- 12日 新規感染者が2週間確認されない
- 14日 国が福井を含めて39県に**緊急事態宣言を解除**
- 15日 県が休業要請を5月18日に前倒して**全面解除**すると決定する
県立学校の授業再開を6月1日と決定する
- 18日 県が**休業要請を全面解除**し外出自粛もすべて解除する
- 4月28日以来、現在まで新感染者は出ていない。(6月12日現在)

前号(53号)で紹介したように今回の新型コロナウイルス感染症は「COVID19」です。初期の感染者が中国(武漢市)なので「中国コロナ」「武漢コロナ」という人もいましたが、ヒトの新興感染症の名称には地名・動物など病気の名称には使えないというルールがあります。すなわち「豚インフルエンザ」「鳥インフルエンザ」も駄目です。

しかし1918~19年第一次世界大戦末期に「スペインインフルエンザ」の大流行がありました。死者は世界で4000万人といわれている。このときの世界人口は約18億人だから全体の2.2%です。発生場所はアメリカまたは中国と言われていますが、参戦国は自国に感染症が流行しているという弱みを見せたくなかったので、中立国のスペインが素直に報告したことから、この名称がつけられたようです。

日新地区の皆さんへのインタビュー



八ツ島のおひさまディーサービスのFさん（電話インタビュー）

ずーっと休業はしていませんが、3月からはご利用者のうち4割の方が休まれました。

5月21日の解除後はほとんどの方が戻ってこられました。コロナ前との違いは必ずマスクを着け、ひとつ行動するたびに手洗いをし皆が気を付けて行動しています

大宮整骨院の竹内一夫さん（電話インタビュー）「福井にコロナ感染者が出た時から患者さんは4割減でした。勿論マスクを着け、手の消毒、衣服の殺菌、そしてエアコンはつけずに窓を全開にしての施術です。3月に入ってからは患者さんはポチポチ戻ってきています。コロナ前との違いは一人一人がうがい、手洗い除菌などを心掛けて、自分自身はもとより周りの人も守る感じが見られます。



レイ美容室(滝本幸子さん) 3月17日に緊急事態宣言が出されてからは、お客様が目に見えて減りました。特に結婚式・卒業式・入学式のヘアと着付けがほとんどキャンセルになりました。この事態のお店の対処として、間隔を空け席数を半分に減らし、シールドを張り、マスク着用、除菌を欠かさずしました。解除後は徐々にお客様も戻ってきています。

ポプラの樹(梅田勢津子さん) 1ヶ月休業しました。ようやく5月21日からお店を開けることができましたが、仕事に対する勤がなかなか戻りません。以前との違いはお客様が店内に滞在する時間が短くなったことと、女の人が少なくなったことです。これは家の人が心配して「早く帰ってきてほしい」とのコールをすることからです。



緊急事態宣言中の日新地区の公園は？

緊急事態宣言真つただ中の4月30日に日新地区の5公園を回ってみた。連休中にもかかわらず、西藤公園にトレーニング中の高校生を2、3人見かけたただけである。各公園ともコロナど吹く風と言わんばかりに藤やチューリップやツツジが見ごろであった。ところでツツジとサツキの違いを調べてみると「葉が出るよりも先に花が咲くのがツツジ、葉が出て谷間から花が咲くのがサツキ」とのことである。さて公園に咲いているのは？



花菖蒲？

松原 幸江

いよいよ梅雨入り。しばらく鬱陶しい雨の日が続くようだ。そんな中、庭の花菖蒲は今が盛りと次々に咲いて眼を楽しませてくれている。



それにしても今年は何故か友人やご近所の方から「これはあやめかきつばた？花菖蒲？」と聞かれることが多い。友人などは「庭に池があるの？」と言ってきたがそんなものはない。それにしても違いってなんだろう？と思い改めて図鑑で調べてみたところ、花弁の元に黄色の筋があるのが花菖蒲とあった。写真の通り我が家の庭に咲く花の花弁の元には黄色の筋がくっきり。花菖蒲に違いない。気持ちもすっきりした。

突然、昨年末より 5 ヶ月間に渡って、新型コロナウイルスの感染症拡大という津波以上の大問題が、地球規模で発生しました。温暖化の進行、放射能汚染、ゴミ処理そして新しく見えないマイクロ単位のウイルス世界と、私達は戦う相手がどんどん増加してきている。まるで地球が我々人間の自己中心に対して反省を促しているかのようです。身近に戻って私達環境部会だが、今までのような活動はできない。

「三密を避け」「マスクを着用」「活動の前後で手洗い」をすることとなり、自然相手の活動には無理が考えられる。

まず会合で各自の意見を求め、まとめ、結果・目的を説明した上でいざ活動に向かっていくという原点に戻る時かと思う。このような中ですが、今年度も底喰川の定例清掃は休まずに行い、有志による除草・美化活動は継続して行っている。また、対外的な学校関係・県・他公民館との交流などについてもいつもの様には進んでいません。今後については地区の皆様の支援にすぎり、公民館に集まれる日々になりたいと願っております。



手洗い・マスク・距離感を日々の生活の中で十分に気を付けましょう！ 山口 満



地域住民のみなさん、日頃は日新さんさんバス運行事業に対し積極的な活用と絶大な応援に心よりお礼申し上げます。我がまちづくり交通部会も組織誕生以来 10 年目を迎えるに至っております。その過程において幾多の難題に直面しましたが、その都度、各役員、地元の住民等の温かい支援に依りて現在に至っております。

令和 2 年度以降の計画とその想いについては従来までの経験を基盤として、尚一層の成長拡大確立を図るべく、展開手法を多岐に亘り考慮しながら、推し進める予定では有りましたが、残念ながら皆さん方も既にご承知の如く、新型コロナウイルスの国内感染拡大が、2 月ごろから広く予測され、その為による外出自粛規制がなされ(三密)経過内容と状況内容を注視した結果、実施しておりますイベント企画(温泉・映画・お茶会等)の中止を余儀無くせざる結果に至りました。

生活様式のそして活動内容の変化を求めざるを得ない状況からして、私達の事業展開も一日も早く元に戻れるようコロナの感染症の終息が確認出来得る状況を願うものであります。

ウイルス感染 → ウイズコロナ → 生活様式変化 → ワクチン・特効薬 → 安全・安心・健康生活

現状は極めて厳しい状況にありますが、今後についてはコロナ感染症の進行内容を十二分に鑑みながら、新たな企画を、部会全員にて検討を加えながら新ガイドラインを提示させて頂きたいと思っております。

新しい公民館活動みんなで考える時

皆さんこんにちは、今年の始めに世界中でコロナウイルス感染症が拡大し、未だ終息される日もわからない状況です。温暖化や利己的経済主義に対する自然の警告かもしれませんね。ともあれワクチン・特効薬が一日でも早くできてほしいものです。4 月に全国に対して緊急事態宣言が出され、6 月に入り徐々に宣言が解除され始めました。こんな中、今年の広報部会はまだ一度も開催しておりません。ご覧のとおり今回の「ゆめにつしん 54 号」は全面的にコロナウイルス感染症関連の記事にしました。特に 1・2 ページ内容は朝日・毎日・福井・日刊新聞や NHK・TBS の報道を参考にして制作しました。また、日新地区の事業者の方々の意見も少し載せました。

今後の公民館活動は人と人の間隔をとり、長時間(夜)の会議も中々できそうにありません。

ウィズコロナの今はグローバルからローカルに変わると言われます。

新型コロナウイルスという新しい共通の敵(人々が互いに信頼しあい寛容になる)を考えることで、

集まらないけど、どうつながっていくか → どこまでが安全か → ルール作り(ボランティア活動)

これからはどうすればよいのか本当に皆で本気で考えなければいけないでしょう。

